



衣類バンクに寄付

縣信金

埼玉縣信用金庫(池田啓一理事長)は、県社会福祉協議

衣類などを寄贈した埼玉縣信用金庫総務部管財グループの木部浩之部次長(左から2人目)らと県社会福祉協議会(さいたま市浦和区)の彩の国すこやかプラザ(県社協提供)

会(県社協)と社会貢献活動推進協議会が共同実施する衣類バンク事業に、約170点の衣類を寄贈した。

同事業は、日常生活に困難を抱える子育て世帯などに無償で衣類を提供するもので、2018年度から現在まで支援件数1092件、支援点数5755点の実績がある。

る。

同社の寄贈は昨年度に続き2回目。職員の子どもや孫の未使用の服や靴を持ち寄り、同社総務部管財グループの木部浩之部次長らが県社協生活支援課に届けた。預かった衣類などは、子ども食堂やフードパントリーを通じて利用者らに配付される。

コロナ禍で生活に困窮して

いる人たちが増えていることから、県社協生活支援課の印南麻衣子課長は「衣類の在庫が常に不足している。家庭で眠っている新品や未使用の子ども服があったら寄付をお願いしたい」と協力を呼び掛けた。

問い合わせは、県社協生活支援課(☎048・822・1249)へ。(高梨肇)